

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年11月21日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671000190
法人名	医療法人 全隆会
事業所名	指宿みどり館
所在地	鹿児島県指宿市東方7521番地3 (電話) 0993-24-5161
自己評価作成日	令和2年10月18日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年11月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※職員全員が理念に基づき利用者様に対して笑顔・安心・思いやりを大切にしながら、その人らしい生活が出来る様に配慮しながら支援しています。  
※地域密着型施設として地域と共存して生活していける様に認知症への情報を発信しながら地域貢献が出来る様に努めています。  
※職員は研修など積極的に参加して認知症ケアの介護技術を学び、利用者様が安心して生活が出来る様に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、母体医療機関、介護老人保健施設や障害者施設などが近隣に位置し、災害時の防災対策のため地域や法人の協力体制があり、例年は地域主催の災害訓練などにも積極的に参加している。また、職員の研修会についても法人全体で開催される接遇マナー研修などに参加し知識や技術の研鑽に努めている。  
母体医療機関とは、緊急時や夜間帯などのオンコール体制が図られている。そのため、いつでも適切な医療が受けられることも利用者や家族の安心感につながっている。また、主治医や家族の総意のもと看取りにも柔軟に取り組むとともに、早い段階から関係者間で話し合い納得のいく最期が迎えられるよう職員全員で取り組んでいる。新型コロナウイルス感染拡大予防を徹底しつつ、面談の希望や必要性に応じて、時間制限を設けるなど配慮し、感染対策を十分に行い居室にてご家族などとの面談の場を設けて健康状態や生活ぶりを実際に確認していただくよう取り組んでいることがより家族との信頼関係や絆を深めている。  
運営推進会議は、敬老会などの行事と同時開催しなるべく多くの家族に参加していただけるよう工夫をしているが、家族の高齢化や仕事の都合などの事情があり家族の参加が少ない。現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため市からの要請もあり会議開催を見合わせている。会議構成員に対しては、電話や書面にて意見交換、管理者は議事録を作成し市職員に面談にて報告を行いアドバイスをもらうなどして健全な事業運営に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は常に確認出来る様、目に入る位置に掲示している。サービス提供時は理念を念頭に置きながら実践に繋げている。	理念は、リビングなどに掲示され、パンフレットや重要事項説明書に明記し、新人職員の教育プログラムに取り入れ朝の申し送り時や個人面談などで振り返る機会を設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月一回公民館にて行われている資源ゴミ回収に参加したり、地域の行事に参加したり、事業所が地域の一員として交流出来るように努めている。ボランティアの慰問も継続している。	毎月、地域向けのホーム便りを配布し、清掃活動への参加やボランティアの受け入れを積極的に実施し、地域の方からの差し入れなども多い。コロナ禍であっても地域行事の見学に行ったり、ボランティアの受け入れを行い交流活動に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々に認知症の人の理解や支援の方法を認知症サポーター養成講座や運営推進会議を通して説明している。地域には毎月、みどり館便りを発行し認知症の理解が出来る様にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者にも参加してもらい事業所の取り組み状況や活動等を報告し参加者より意見をもらい、サービス向上に努めている。	家族の高齢化や家庭の事情があり会議への参加が少ないが、管理者は、より多くの家族に参加していただけるよう行事との同日開催や会議の内容を工夫したいと考えている。現在は、構成メンバーに資料を配布し電話にて意見を取りまとめ書面にて市担当者に報告し助言や指導などを頂戴するよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者には運営推進会議に出席してもらい事業所の取り組み等を伝えアドバイスももらったり市の情報を発信してもらっている。	市担当者や生活保護担当職員とは、利用者の日頃の暮らしぶりをつぶさに伝え、必要に応じてアドバイスや助言などをもらい相互の協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ全員が身体拘束については正しく理解し玄関の施錠については夜間帯以外はしないように心掛けている。日頃から身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定例会議は3ヶ月ごとに開催され、年1回内部研修にて身体拘束や虐待防止などの知識や技術について自己研鑽している。身体機能の低下や認知症の進行に伴い転倒のリスクが高い方などもおられるが、行動などを制限することなく、本人本位に過ごしていただけるよう配慮し職員間でケアの方法などを検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についてスタッフ間で話し合いの場を設け見過ごす事の無いようにする。スタッフ全員が自覚を持って防止に努めるよう、業務に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフが制度について学ぶ機会を持ち理解出来る様、努めている。利用者の判断能力を見極めて制度の活用が出来ないか検討する機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約・解約時又は改定の際には利用者や家族に対して必ず説明をして理解・納得を図っている。改定の際も文書で送付し来館時には説明して理解を得られる様にしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置して外部へ表せる様に配慮している。ご家族が来館された際には意見交換を常に言い意見が反映出来る様に配慮している。</p>	<p>毎月、ホーム便りや個人記録の写しを郵送し、利用者の生活の様子や変化などをお伝えするようにしている。管理者や職員は、面談時に意見、要望などを聞き取るように努めており、出された意見などは、職員間で話し合いなるべく希望に添えるよう取り組んでいる。家族から希望があれば居室にて短時間に限り面談をしてもらっている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者が年2回、職員と面談を行い意見交換をしている。意見や提案があった際には代表者、法人事務長に報告をして反映される様にしている。又、随時、話し合いの機会を持てる環境にしている。</p>	<p>職員の労働意欲に繋がる業務体制、給与、資格手当や休憩時間を確保し、職員が働きやすい職場環境を整備している。若いスタッフや有資格者が多く離職も少なく職員の関係性が良い。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>常日頃から管理者、法人事務長から職員の状況報告を受けて把握している。職員がやりがいや向上心を持って働ける環境作りをしている。法人としても管理者が関わらないストレスチェック診断も行い状況を把握する様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員には法人内外の研修に積極的に参加をしてもらっている。今年度に関してはコロナ禍の影響もあり十分に研修を受ける事が出来ないが管理者が研修を受けて職場にフィードバックが出来る様にしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者等で開催される勉強会や会合には積極的に参加が出来る機会を作っている。ネットワーク作りや勉強会に参加する事でサービスの向上に繋げる様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に利用者・家族とは面談をして要望等を把握して安心して入居出来る様に配慮している。又、不安要素が早期に取り除ける様に入居してからも密にコミュニケーションを図り関係構築を図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始する前に面談を行い、不安な事や要望には耳を傾けて少しでも不安が解消出来る様に支援している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の意見を取り入れながらケアプランを作成しサービスを提供している。必要があれば見直しも検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の力量を把握して利用者が介護を必要としない状況を作り共同生活している者同士の関係性を築ける様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際は状況報告をして毎月、手紙でも状態の報告、施設便り等で利用者の状態については把握してもらっている。行事等にも参加して交流が出来る様に声かけをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方やご友人の関係性が途切れない様に支援をしている。ご家族にも協力をしてもらい、外出等の支援も行っている。	電話の取次ぎや暑中見舞い、年賀状のやりとりを支援し友人などとの関係性が継続できるよう努めている。外出支援が困難な状況下であるが、感染予防を徹底し地域に出かけたり、法人の病院や施設に出かけるなどしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握して座席を決めている。レクリエーションでも孤立しない様に職員が間に入り積極的に関わり合える様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した利用者や家族に対しても退所先に訪問して状況を確認したり困った事がなければ相談にも応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人希望に添える様に常日頃から話をして意向の把握に努めている。ご家族との話し合いを基にスタッフ間でも共有して検討しながら支援している。	自分の気持ちを言葉にできないなど意志疎通が困難な方でも利用者の日頃の生活状況や職員、家族からの情報を踏まえて、カンファレンスなどで情報共有し、本人の思いを汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前から家族・本人とは話し合いをして、これまでの生活環境に近づけるように検討し本人の希望に添える様に支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、バイタル測定をして状態を把握している。手伝い等も有する力等の現状を把握しているので力量に合わせた手伝いをしてもらっている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族・スタッフ間で話し合い本人がより良い暮らしが出来る様に配慮しながら介護計画を作成している。日々の言動等も見逃さない様に注意しながらモニタリングをしている。	「ケアチェック表」を活用し、本人の思いを抽出して生活状況シートを参考にしながら、本人の目標や生きがい、役割などを明確にし介護計画に反映させている。管理者は、自宅を訪問したり家族の来訪時に直接計画の説明をおこない、意見交換し理解の上、同意をもらうよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子で体調変化や行動の変化等が見られた時には個人記録や申し送りノートを活用して共有が出来るようにしている。又、介護計画の見直しにも活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズに合わせて柔軟な支援が出来る様にスタッフ間で話し合いサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用として遠足では公共施設の利用や地域の観光地を巡り食事では地産地消を取り入れてある場所で食事を楽しんでもらえる様に支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については本人・家族の希望に添って決定している。かかりつけ医とは密に連携が出来る様に普段から受診時同行をして相談し本人の意向に添った医療が受けられる様に支援している。	母体医療機関の医師が主治医であるが、在宅から継続している方もあり、本人や家族の希望に配慮し他科受診は家族に協力をいただいている。訪問看護ステーションとの連携やオンコール体制があり適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃から利用者様の体調の変化があった時等は法人内の看護師や訪問看護師に相談し早急に対処している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院した際は病院関係者と情報交換や相談を行っている。入院中に利用者様が不安にならない様に定期的に面会に伺い安心出来る環境を作っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所の際に重度化した場合や終末期については話し合いを行い希望に添った支援が出来る様に事業所で出来る範囲を説明している。同意書も作成して理解をもらっている。</p>	<p>「重度化した場合の対応に係る指針」があり、看取りについての指針についてもホームの看取りへの考え方などについて明記し柔軟に取り組んでいる。看取りの実績はないが、ホームでできる最大のケアについて早い段階から話し合い、医療関係者や施設職員などと情報交換しながら本人、家族の納得のいく最期について検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>月一回スタッフ全員でミーティングを行い急変や事故発生時に早期に対応出来る様にしてリスクを減らす様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>半年に一回消防署の立ち合いの下、避難訓練の実施や地震・水害等を想定した災害の避難についても法人全体で訓練をして全職員が身につけるようにしている。又、地域住民の協力体制も築いている。</p>	<p>法人全体の消防訓練に参加している。地域の協力体制もあり、避難訓練に参加もしていただいている。備蓄は、隣接する関連施設で一括管理されている。新型コロナウイルス感染症禍は、法人職員が中心になり避難訓練を実施した。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	着替え・入浴・排泄時はプライバシーに配慮して対応をしている。一人一人の人格を尊重した声掛けを心掛けている。	接遇マナー研修が法人全体の研修の中で定例化されており、日頃、不適切な言葉使いや態度などがあった場合などは、その場で注意したり指導するなどして再発防止に努めている。職員は、理念を意識したケアの実践に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を日常会話の中から引きだして自己決定出来る様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の過ごし方を把握して、一人一人のペースに合わせて過ごせる様に配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髭剃り・整容は毎日行い身だしなみには気をつけて、おしゃれが出来る様支援している。散髪についても本人の希望に添う髪型にしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめる様に苦手な食材は献立・調理方法を考慮しながら行っている。又、スタッフと一緒に食事の準備・後片付けをしている。	必要な方には食事介助をしたり、嗜好に合わせて食事形態を工夫し食べやすくして提供したり、弁当や外食、菜園で採れたさつまいもや夏野菜などの旬の野菜を使った料理や手作りおやつを楽しんでもらっている。また、能力に応じた手伝いもいただいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士に相談して栄養バランスの良い献立・食事摂取を心掛けている。利用者の状態に応じた食事形態で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状態に応じた口腔ケアを毎食後行っている。義歯の消毒も行い口の臭いや汚れが生じないように気をつけている。口腔状態の悪化が見られた時には協力歯科医院に相談をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用して排泄パターンを把握し声かけや誘導を行っている。夜間は状態に応じてオムツを使用する方もいるが日中はトイレでの排泄が出来る様に支援している。	リハビリパンツから布下着へと改善された方がいるが、職員は本人の排泄リズムを把握し排泄チェック表を活用しながら、昼間はトイレで排泄ができるよう支援するとともに、夜間は、ポータブルトイレやおむつ交換にて排泄の自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が多く含まれる献立を沢山、取り入れ体操・腹部マッサージ・散歩など行い便秘予防に努めている。便秘症の方は医師と相談しながら食事形態の変更等もしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ずつ入浴してもらい自分のペースで入浴出来る様にしている。入浴の際にはゆっくりと楽しめる様に職員が話をしながら楽しんでもらっている。	認知症の症状緩和を意識して、入浴は夕方に近い時間に一人ひとりがゆっくりと温泉浴が楽しめるよう入浴支援をしている。また、身体機能低下により入浴方法を工夫し入浴をしていただけるよう配慮もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に良く眠れる様に日中は利用者様の体調をみながら出来るだけレクリエーションにも参加してもらう様に声掛けしている。生活習慣に合わせて個々のタイミングで休息してもらう様している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があった時等、申し送りノートに記入して全スタッフへ周知する様にしている。又、薬の説明書はいつでも閲覧出来る様に職員部屋に保管し各自把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でも張り合いや喜びが持てる様、生活歴や特技等を見極め手伝いをしてもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の夏祭りや病院内の運動会に参加して季節を感じてもらっている。春と秋は一日遠足に出掛け自然と触れあいながらゆっくりとした時間を過ごしてもらう様にしている。	日常的な散歩も、コロナ禍でありショッピングは自粛している。しかし、法人の夏祭りなどの行事への参加や市内観光をするなどして外出の機会を大切にしている。日頃から行事計画にて四季を肌で感じていただけるよう計画的に外出支援をしている。また、法人に関連した行事への参加や地域の行事にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>嗜好品がある場合、買い物に同行してもらうが力に応じて支払いもしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族へ個々の状況を送付する際、手紙を書ける利用者様には書いてもらっている。又、希望があれば家族・友人と電話出来る様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じられる様に季節に応じた塗り絵や貼り絵をしてももらっている。温度計と湿度計を設置し利用者様の意見を取り入れつつ、居心地良く過ごせる様にしている。廊下には季節を感じられる貼り絵を展示している。</p>	<p>玄関から共有スペースが一望できて、食堂兼リビングルームになっている。ソファが置かれ職員と語ったり、思い思いに過ごせるよう配慮されている。季節の生花が飾られ、壁には、季節ごとに変わる大きな木の貼り絵がひと際目を引いている。庭には、菜園もあり、玄関前には椅子が設置してあるため、散歩帰りの休憩や外気浴に活用されている。また、加湿器を設置、換気や消毒を小まめおこない環境整備をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>座席は利用者様の意見も取り入れ関係性も考慮しながら決定している。ソファを配置して、いつでも好きな時間に座ってもらう様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族に使い慣れた物を聞き持参してもらっている。居心地良く過ごせる様に配慮している。</p>	<p>居室の掃除が利用者の日課になっており、清掃が行き届いている。カレンダーを日記代わりに活用しておられる方や趣味の書籍や家族写真、寝具など馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごしておられる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自室の掃除や洗濯物の手伝い等が出来方方には積極的に協力して頂くように声掛けしている。また安全に生活出来る様に環境作りを行っている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない